

## 東海女子大学

## 研究業績一覧 1997. 1～12

研究業績を氏名の五十音順に掲載し、著書、論文、翻訳・翻刻、調査報告などは、〔著者名：書名・論文名、発行所・雑誌名巻号、刊行月日、ページ〕の順に、学会発表、講演・公演・展覧会などは、〔発表者・演者・出品者名：題名、学会名・主催団体名、開催場所、発表月日〕の順とした。

## 天 沼 香

天沼 香：『日本史小百科〈近代〉——家族——』、東京堂出版、9月。

天沼 香：「核家族・原始乱婚制・家族国家——家族研究のための覚書——」、『東海女子大学紀要』第16号、3月。

天沼 香：「日本人の言葉・人間関係・民族性④——日本的人間関係としての不倫——」、『ふれあいの輪』VoL.12, No.1, 花みち会、11月。

Amanuma, K.: Is Japan a Vertical Society? (1), Nootka House Seminar, Vancouver, British Columbia, Canada, July 24.

Amanuma, K.: Is Japan a Vertical Society? (2), Nootka House Seminar, Vancouver, British Columbia, Canada, August 9.

Amanuma, K.: Is Japan a Vertical Society? (3), Nootka House Seminar, Vancouver, British Columbia, Canada, August 22.

天沼 香：「存在理由、希薄な『家族』～個人の責任で関わる時代～」、『読売新聞』、11月19日付朝刊。

天沼 香、大森正英、他：「大学生の日常生活とストレス」、東海公衆衛生学会、名古屋市立大学医学部、7月。

## 蘭 和 真

蘭 和真・バドミントン医科学研究班：「バドミントン全日本代表女子選手の心理的特徴——バーンアウト傾向、ストレッサー、ソーシャルサポート、風景画から見た特徴——」『平成8年度日本体育協会スポーツ医・科学研究報告 No.II 競技種目別競技向上に関する研究』第20報、日本体育協会、p.127～134。

蘭 和真・バドミントン医科学研究班：「バドミントン選手の視機能調査について」『平成8年度日本体育協会スポーツ医・科学研究報告 No.II 競技種目別競技向上に関する研究』、第20報、日本体育協会、p.134～137。

蘭 和真：「技術的構造と練習方法、部活動の運営方法、バドミントンの基礎技術」長野県体育センター、学校体育指導者研修講座・講師 運動部活動指導者研修（前期）、信州スカイパーク、7月17日、18日。

蘭 和真：「バドミントンの応用技術、戦術、競技会の運営と審判法」長野県体育センター、学校体育指導者研修講座・講師 運動部活動指導者研修（後期）、信州スカイパーク、7月31日、8月1日。

## 生 田 純 子

生田純子：「学校教育相談の動向(2)——学校カウンセラーの資格認定を巡って——」『東海女子

大学紀要」, 第16号 p.107~122.

生田純子:「ピア・カウンセリングについて」, 愛知県臨床心理士会高校分科会, 名古屋大学,  
6月29日.

#### 牛島 秀彦

牛島秀彦: (映画) 人間の翼 (特攻と日本人)・原作『消えた春』(河出文庫), 岡本明久監督・  
東根作寿英, 馬渕晴子, 川津祐介, 佐藤允等出演 主催・東海女子大学, 東海女子短期大  
学 場所・東海女子短期大学体育館, 1997年10月。(東京都平和の日・出品上映 1998年3  
月10日)

牛島秀彦:『真珠湾の不時着機』(解説・東京女子大学名誉教授 猿谷要) 河出文庫・河出書房  
新社 12月.

牛島秀彦:「日本人の生と死——KAMIKAZE ATTACKについて——」, 岐阜放送, 11.5.

牛島秀彦:「国家と人間」講演, 東京武蔵野公会堂, 11.29.

牛島秀彦:『いつか来た道を歩まされている日本人』, (週刊金曜日) 12月

#### 太田 祐周

太田祐周:「学習能力発達の支援(1)」, 『東海女子大学紀要』, 第16号, pp.7~26.

#### 大平 英樹

大平英樹:「感情」, 山田富美雄(編)『シリーズ医療の行動科学I』, 北大路書房, pp.56-65.

大平英樹・土肥伊都子:「社会心理学」, 山田富美雄(編)『シリーズ医療の行動科学I』, 北大  
路書房, pp.76-85.

大平英樹:「気分・ムードを測る」, 山田富美雄(編)『シリーズ医療の行動科学I』, 北大路書  
房, p.64.

Ohira, H., Winton, W. M., & Oyama, M.: Effects of stimulus valence on recognition  
memory and eyeblink response: Further evidence for positive-negative asymmetry.  
Personality and Social Psychology Bulletin.

Ohira, H., Watanabe, Y., & Kobayashi, K.: Personality and immune reactivity to acute  
stress: A pilot study. Bulletin of Tokai Women's College, 16, pp.139-146.

大平英樹:「瞬目に反映される記憶の自動的成分と意図的成分」, 『生理心理学と精神生理学』,  
15, 94-95.

大平英樹:「表情刺激を用いた閾下プライミング—反応時間と瞬目による検討」, 『感情心理学研  
究』, 4, 27-28.

大平英樹:「急性ストレス負荷による免疫指標の反応性」, 日本感情心理学会第5回大会, 早稲  
田大学, 5月.

大平英樹:「Emotional Intelligence」, 日本感情心理学会第5回大会シンポジウム, 早稲田大  
学, 5月.

大平英樹:「瞬目に反映される記憶の自動的成分と意図的成分」, 第15回日本生理心理学会学術  
大会, ノートルダム清心女子大学, 5月.

渡辺 豊・大平英樹:「唾液中分泌型免疫グロブリンAを用いたストレス及びリラクセーション  
の評価」, 第43回東海公衆衛生学会, 名古屋市立大学, 7月.

Ohira, H.: Is dysfunction in depressive self-referent information processing automatic or  
conscious?: An event-related brain potential and reaction time analysis. Joint Meeting  
of the 45th Conference of the Japanese Group Dynamics Association and the Secoud  
Conference of the Asian Association of Social Psychology, Kyoto, August.

大平英樹・渡辺 豊：「急性ストレスによる唾液中S-IgAの反応性」，第45回日本教育医学会大会，ソウル，8月。

大平英樹：「急性及び慢性ストレスと免疫機能」，日本社会心理学会第38回大会，立教大学，9月。

大平英樹：「認知的アプローチが社会心理学にもたらしたもの」，日本社会心理学会第38回大会シンポジウム，立教大学，9月。

大平英樹：「瞬目率時間分布に反映される再認記憶の過程」，日本心理学会第61回大会，関西学院大学，9月。

足立美奈子・大平英樹・渡辺 豊：「行動パターンとストレス反応性(2)—非侵襲的免疫指標による検討—」，日本心理学会第61回大会，関西学院大学，9月。

大平英樹：「感情と認知をめぐる実験方法の諸問題」，日本心理学会第61回大会ワークショップ，関西学院大学，9月。

大平英樹：「ストレスとその対処」，岐阜大学医学部付属病院講演，7月。

大平英樹：「社会心理」，岐阜県看護協会教員養成研修会講演，12月。

大平英樹：「人間関係とコミュニケーション—理論と技法—」，高山市民カレッジ講演，12月。

#### 大森正英

大森正英：「レチノイド・カロテノイドの摂取と代謝——レチノイドはどんな食物に含まれるのか」(分担執筆)，『レチノイド・カロテノイド——体内代謝と発癌予防』(武藤泰敏 編) pp.34-45. 南山堂，東京，1997.

大森正英：「レチノイド・カロテノイドの消化・吸収」(分担執筆)，『レチノイド・カロテノイド——体内代謝と発癌予防』武藤泰敏(編)，pp.45-52, 南山堂，1997

渡邊正喜，大森正英：「非環式レチノイド(ポリプレイン酸)単回投与によるマウス自然発症肝癌の抑制に関する研究」，「岐阜大学医学部紀要」，第45巻第1号，pp.110-120.

大森正英：「女性と飲酒」，『Health Sciences』13(3)，pp.138-143.

宮田延子，大森正英 他：「在宅高齢者の健康度と生活習慣 第一報 健康生活習慣からみた健康高齢者の特性」，『日本公衆衛生雑誌』第44巻8号，pp.574~585.

安藤晴彦，大森正英 他：「スキー場におけるスキーヤーとスノーボーダーの傷害調査」，『教育医学』第42巻第3号，pp.220-229.

大森正英：「非環式レチノイドの抗腫瘍作用—人肝癌の再発予防効果」，『ビタミン』第71巻第9号，pp.448-450.

渡辺周一，大森正英 他：「青年期女子の体重観と日常生活」，『東海女子短期大学紀要』第23号，pp.91-105.

中村憲昭，四童子好広，大森正英 他：「ゲラニルゲラノイン酸(非環式レチノド)受容体の検索」，日本ビタミン学会，徳島，5月。

渡邊正喜，大森正英 他：「非環式レチノイド(E5166)少数回投与による自然発症肝癌の抑制に関する研究」，「日本ビタミン学会」徳島，5月，1997.

水野泰子，大森正英 他：「大学生の日常生活とストレス」，東海公衆衛生学会，名古屋，7月。

井上広国，大森正英 他：「大学生のストレスと摂食行動に関する研究」日・韓健康教育シンポジウム兼日本教育医学会，ソウル特別市，8月。

水野かがみ，大森正英 他：「大学生の飲酒に関する研究」，日・韓健康教育シンポジウム兼日本教育医学会，ソウル特別市，8月。

安藤晴彦，大森正英 他：「大学生の喫煙に関する研究」，日・韓健康教育シンポジウム兼日本

教育医学会, ソウル特別市, 8月.

花井忠征, 大森正英 他: 「全日本高校女子バスケットボール優勝チーム選手を対象とした中期的運動による血清脂質の変動およびその変動に關与する予知因子の検討」日・韓健康教育シンポジウム兼日本教育医学会, ソウル特別市, 8月.

大森正英: 「ビタミンAと食品—健康に及ぼす影響と生理作用機構」食品科学教育協議会, 岐阜, 10月.

山澤和子, 松井信子, 水野泰子, 大森正英: 「大学生の喫煙行動の特徴」, 日本公衆衛生学会, 横浜, 10月.

#### 大西 信行

大西信行: 「生涯学習社会と学校教育の再編」伊津野朋弘編者『教育組織の制度と運営』八千代出版 pp.141-152.

大西信行: 「教育課題という大波～新しい教育課題とスリム化の矛盾」, 牧昌見編『教職「大変な時代」』教育開発研究所, pp.67-76.

大西信行: 「学校教育における男女平等意識の啓発」(男女共同参画社会セミナー講師), 岐阜県生涯学習センター 7月.

大西信行: 「生涯学習の意義・役割・動向」(生涯学習専門講座講師), 岐阜県生涯学習センター 8月.

#### 岡本 真理子

永田恵子, 岡本真理子, 河田克博, 仙田 満, 内藤 昌: 「礼法書系道具雜物の書誌と類型」, 『日本建築学会計画系論文集』第499号, 日本建築学会 pp.185-192.

岡本真理子: 「女の建築・男の建築」, 東海女子大学公開講座, 東海女子大学, 10月.

岡本真理子: 「名古屋城能舞台復元模型設計・監理」, 名古屋市, 竣工2月.

岡本真理子: 「鶴舞公園奏樂堂復元工事設計・監理」, 名古屋市, 3月竣工.

岡本真理子: 「天理教名敬正分教会新築工事設計・監理」, 天理教名敬正分教会, 3月竣工.

岡本真理子: 「川名山の家岡本邸新築工事設計・監理」, 岡本真理子, 竣工10月.

#### 川島 大司

川島大司: 「サンプル数の諸問題(8)」日本応用心理学会第64回大会, 駒澤大学, 8月.

#### 北山 長貴

北山長貴: 「ホール・ランゲージ——ESLへの応用その1——」, 『研究紀要』第10号, 言語文化研究会, pp.85-92.

北山長貴: 「ホール・ランゲージにおけるフォニックスの指導について」, 『英語音声学』EPSJ 創立記念特集, 創刊号, 英語音声学, pp.291-302.

北山長貴: *Language Analysis: Phrasal Verbs and Phonological Information in ESL Textbooks* 『東海女子大学紀要』第16号 pp.100-110.

北山長貴: 「Whole Language Approach のESLへの応用」, 英語音声学 第2回全国大会 研究発表, 筑紫女学園大学, 6月14日.

#### 小高 良友

小高良友: 「大学冬の時代の社会学専攻『生き残り』戦術」, 『東海女子大学紀要』第16号, 147-154頁.

小高良友: 「社会学教育におけるビデオ活用—『ビデオで社会学しませんか』に答えて」, 『大学と教育』第21号, 4-21頁.

小高良友: 「暮らしに生かしたい社会福祉, アレコレ」, 各務原市教育委員会, 各務原市西生涯学

習センター、『男と女のさわやかライフ』講座，11月。

### 酒 向 一 次

酒向一次：『社会保障論』上村政彦・東方淑雄（編著），（株）みらい，1997.5.11 初版 pp.150-170.

### 清 水 善 三

清水善三：『仏教美術史の研究』，中央公論美術出版，p411，4月。

清水善三：『仁和寺』（重版），中央公論美術出版，pp30，4月。

清水善三：「編集後記」（『佛教藝術』232号），毎日新聞社，5月。

清水善三：「日本の肖像彫刻と長楽寺の時宗彫刻」（『長楽寺千年』所収，改訂版，共著），pp.1-33，7月。

清水善三：「平安時代前期の仏像」講演，福岡市美術館，8月。

清水善三：「京都の仏像と奈良の仏像」講演，岐阜県博物館，11月。

### 白 幡 富 夫

白幡富夫：「親のための自閉症児早期教育プログラムの開発(1)」，『東海女子大学紀要』第16号，pp.185-195.

白幡富夫：「有効な強化子（reinforcer）を探る」，『ポーター通信』，日本ポーター協会，No.41.

白幡富夫：「発達（学習）保障と共生・共育保障の交わり(1)」，『ポーター通信』，日本ポーター協会，No.42.

白幡富夫：「発達（学習）保障と共生・共育保障の交わり(2)」，『ポーター通信』，日本ポーター協会，No.43.

白幡富夫：「発達（学習）保障と共生・共育保障の交わり(3)」，『ポーター通信』，日本ポーター協会，No.44.

白幡富夫：「ポータープログラムの理論」，講演，各務原市福祉の里，8月。

白幡富夫：「ポータープログラムの活用の仕方」，講演，各務原市福祉の里，9月。

白幡富夫：「ダウン症・自閉症のサンプル」，講演，各務原市福祉の里，10月。

### 高 木（北山）眞 理 子

高木眞理子：「ハワイ二世と第二次大戦——ハワイ社会改革への道——」移民研究会編，（編集委員：飯野正子・木村健二・桑井輝子）『戦争と日本人移民』，東洋書林，pp.247-251. 1月。

高木眞理子：「アメリカ社会とアジア系アメリカ人」鶴木奎治郎（編著），『新版アメリカ新研究』，北樹出版，pp.125-131. 9月。

高木（北山）眞理子：「ハワイは誰の故郷か——先住民と移民の子孫」，『創文』，5月号，No.387. 創文社. pp.14-17.

高木（北山）眞理子：“An Ethnic Myth? : The Myth of Harmonious Ethnic Relations in Hawaii.” Mariko Takagi-Kitayama : JCAS Joint Research Project on Population Movement in the Modern World : The Second International Symposium, “Diversified Migration Patterns of North America : Their Challenges and Opportunities.” At The Japan Center for Area Studies, National Museum of Ethnology, Osaka, Japan. January 20-22. (特別共同研究「人口移動の基礎研究」第2回シンポジウム，国立民族博物館，地域研究企画交流センター主催)

高木（北山）眞理子：「身近な国際化」，各務原市国際協会設立10周年記念シンポジウム・パネ

リスト, 各務原市産業文化センター, あすかホール, 7月.

#### 橋本美代子

橋本美代子:「電子メディア時代の「知」をめぐる問題」, 名古屋大学大学院人間情報学研究科  
修士論文

橋本美代子:「電子メディア時代の人間と社会」, 財団法人 電気通信普及財団 (編), 『テレコ  
ム社会科学学生賞入賞論文集』, No.6, pp.319-345.

#### 長谷川博一

長谷川博一:「ヒューマニスティックな面接法としての催眠療法」, 『人間性心理学研究』第15巻  
第1号, 日本人間性心理学会, pp.96-107.

長谷川博一:「体験様式変容のためのFCR (Fully Communicating Relationship) 面接の3事  
例——クライアント中心の催眠法として——」, 『催眠学研究』第42巻第2号, 日本催眠医  
学心理学会, pp.46-56.

長谷川博一:「再検査効果と項目再認記憶の関係について」, 『心理学研究』第68巻第5号, 日本  
心理学会, pp.417-422.

長谷川博一:「伝統的催眠法のヒューマニスティックな展開」, 『人間性心理学研究』第15巻第2  
号, 日本人間性心理学会, pp.202-214.

長谷川博一:「問題行動傾向」, 宮沢秀次他 (編) 『ばーじょんあつぷ自分でできる心理学』, ナ  
カニシヤ出版, pp.76-79.

長谷川博一:「人格と適応」, 東京アカデミー (編) 『教員採用試験・教職教養II・教育心理・教  
育法規』, 七賢出版, pp.59-106.

#### 浜田美佐子

浜田美佐子:「誰でもない女の私——エミリー・ディキンソンの自然——」, 後藤昭次 (編) 『文  
学と批評のポリティクス——アメリカを読む思想』, 大阪教育図書, pp.163-177.

浜田美佐子:「エミリー・ディキンソンの詩における自然について」, 日本エミリー・ディキンソン  
協会第13回大会・シンポジウム, 東京農業大学, 10月.

浜田美佐子:「キンケイドとディキンソン」, 日本アメリカ文学会中央支部読書会, “Jamaica  
Kincaid: *The Autobiography of My Mother*”・コメンテーター, 名古屋大学, 12月.

#### 樋口時弘

樋口時弘 他 (訳):『ネイティブ英語運用辞典』, 第3版, G. N. Leech著, マクミランランゲ  
ージハウス, pp.393-777.

樋口時弘 他:『言語学入門』第32版, 大修館書店, 第1章, 4章, 10章.

#### 藤澤隆子

藤澤隆子:「奈良薬師寺蔵 (重文) 光背 (残欠) 文様の検討——大安寺釈迦像を視野にいれて——  
——」『鹿島美術研究』年報第14号別冊, (財)鹿島美術財団, pp.80-90.

藤澤隆子:「三輪釈迦と神仏習合」『岐阜新聞』(サンデーコラム), 岐阜新聞社, 6月22日.

藤澤隆子:「西国三十三所霊場寺院本尊」『岐阜新聞』(サンデーコラム), 岐阜新聞社,  
9月14日.

藤澤隆子:「勧進の美術・参詣曼荼羅図」『岐阜新聞』(サンデーコラム), 岐阜新聞社,  
12月7日.

藤澤隆子:「奈良市東部の仏教遺跡——第16回奈良市文化財めぐり——」奈良市教育委員会, 11  
月.

**堀 素子**

Hori, M. : Mental Process Clauses in Japanese. Anne-Marie SIMON-VANDENBERGEN, Kristin DAVIDSE and Dirk NOEL (eds.) *Morphology and Syntax in Functional Perspectives*. Amsterdam: John Benjamins, pp.297-327.

堀 素子：「日本語の感覚表現——選択体系機能文法の視点から」 *Kansai Linguistic Society* 17 (Proceedings of the Twenty-First Annual Meeting), pp.143-152.

堀 素子 (司会・提案者) 他3名：ワークショップ「Politeness 概念の定義とその表明」, 大学英語教育学会第36回, 早稲田大学.

Hori, M. : Mood Structure in Spoken vs. Written Japanese. Australia Systemic Functional Linguistics Association Conference, University of Wollongon, Australia.

**増井幸恵**

増井幸恵・高橋正泰・山本利和：「視覚障害者における音声案内つき触地図の有効性について」, MERA第53回研究会—研究発表会. 国立医療・病院管理研究所 6月13日.

増井幸恵：「迷いやすい場所の次元——女子大生はいかに環境をとらえたか?——」, 日本心理学会第61回大会 ラウンドテーブルディスカッション「環境心理学への提言(2)——環境をいかにとらえるか——」, 関西学院大学, 9月17日.

増井幸恵：「方向音痴の経験的定義の構造」, 関西心理学会談話会, 大阪市立大学, 11月29日.

**宮本邦雄**

宮本邦雄：「母親ラットの能動的回避学習に関する研究」, 『東海女子大学紀要』第16号, 東海女子大学, pp.197-201.

宮本邦雄：「離乳後の未成体期ラットにおける情動反応性の一時的低下現象——ランウェイ・テストを指標とした検討——」, 『心理学研究』第68巻第5号, 日本心理学会, pp.1-7.

宮本邦雄：「女子青年の母性準備性と内的作業モデル——高校生, 大学生, 看護専攻学生の比較——」, 日本発達心理学会第8回大会, 大阪大学, 3月.

宮本邦雄：「動物行動研究は発達心理学に何を示唆しうるか, 「こども」とは何かの考察を通じて, 「食」の側面から」(公開シンポジウム), 日本発達心理学会第8回大会, 大阪大学, 3月.

宮本邦雄：「母親ラットの回避学習について(3)」, 日本動物心理学会第57回大会, 滋賀大学, 4月.

宮本邦雄：「児童期の母子関係と内的作業モデル」, 日本心理学会第61回大会, 関西学院大学, 9月.

**校條善夫**

校條善夫：「心の時代と情報社会」, たかやま市民カレッジ, 高山市教育委員会 渉外学習推進室, 11月.

**矢澤久史**

矢澤久史：「ラットの放射状迷路におけるペレット数選択(2)」, 『日本心理学会第61回大会発表論文集』 pp.765.

●編集委員●

(五十音順)

大野昭英 ○岡本真理子 近藤鎰郎  
鈴木真理 樋口時弘 藤田弘人  
古田真一 矢澤久史

---

東海女子大学紀要 第17号

平成10年3月31日発行

発行者 東海女子大学  
〒504-8511 岐阜県各務原市那加桐野町5丁目  
TEL.0583 <89> 2200

印刷所 合同印刷株式会社  
〒460-0008 名古屋市中区栄1丁目12番35号  
TEL.052 <221> 7371

---